



ボラコNEWS

平成18年
12月号

発行:災害ボランティアコーディネーターなごや
なごやボランティア・NPOセンター

volaconagoya@yahoo.co.jp

URL <http://www.geocities.jp/volaconagoya/>

名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12階 ロッカーNo. 27

平成18年12月23日発行

コント・防災ファッションショー

地震のシーン
家具固定



左：家具固定をしている賀久留田家
右：家具固定をしていない加久留内家

の中で、全国デビューを果たしました。毎回、公演当日の参加者から出演者を決め、その場で台本を渡し、演じてもらうという綱渡りの公演ですが、そこは皆さん役者ぞろいで会場からは毎回、笑いあり感心ありで、なかなかの手応えです。参加の皆さんも楽しんで出演し、準備や撤収などはいつもの手際良さで、あっという間です。

このショーは多くの出演者で成り立ち、連絡会ができて初めて演じられるものです。名古屋の防災力の底上げと啓発に、そして何よりも参加者と会場が一体となって楽しめ、一石二鳥にも三鳥にもなっていると自負しています。

「防災をもっと楽しく」という発想から「名古屋の防災はおもしろい！」と全国から注目されるように次の構想を練っています。皆さんからのアイデアもお待ちしています。

INDEX

- 2P 養成講座5期修了、被災地支援報告、新入会員から
- 3P 防災啓発巡回展開催！（他関連記事）
- 4P 中川区が立ち上がりました！！
市内ネットワーク状況、今後のスケジュール、お願いとお知らせ

「本邦初公開！コントなのか、ファッションショーなのか...」のフレーズで面白おかしく始まる『防災ファッションショー』がなごや災害ボランティア連絡会の参加する催しの中で産声を上げました。初演は8月の内閣府主催の防災フォーラム（栄オアシス21）で、2回公演（？）を皮切りにその後も回を重ね、ついに11月28日（火）には全国社会福祉協議会の研修

防災ベストのシーン



全国社会福祉協議会の研修の中での公演=11月28日

防災ファッションショー

暗闇の中、寝静まった街に大地震が起こり、家具固定をしている家庭と、していない家庭の夫婦の寝室から始まる防災ファッションショー。枕元セットに始まり防災ずきん、非常持出品、防災ベスト、おんぶ紐やサランラップなどの日用品の活用紹介などを毎回30人前後で演じるものです。

なごや災害ボランティア連絡会

7月に発足して以来、毎月1回のペースで回を重ねています。毎回、議題は盛りだくさんで、2時間半では時間が足りないくらいの勢いです。活発に意見交換もなされ、多くの力を集めるとこんなにも色々なことができるのかと今更ながらに感心をしています。

我がボラコなごやも各区の団体も、着実にステップアップしています。講座を主催したり、講師として防災啓発をし、ワークショップではファシリテーターをこなし、展示物の開発などにも精力的です。

今後も連絡会を通し情報の共有から、催事の協力など、名古屋の力を結集していきたいと思ひます。

災害ボランティアコーディネーター

新しい仲間が

第5期生 64名修了！！

増えました

11月23日(木祝)、11月26日(日)、12月10日(日)の3日間の日程で名古屋市主催の「平成18年度名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座」が、伏見のライフプラザ12階研修室で開催されました。今回は40名の定員を超える応募があり、多くの方に受講していただきたいという名古屋市の意向で希望者全員が受講しました。

カリキュラムについては4期まで行われていた一泊研修はありませんでしたが、講義とグループワークで履修時間は18時間におよびました。2日目には新潟から中越地震で被災し、その後、中越復興市民会議を立ち上げた稲垣文彦氏に講義をしていただき、改めて被災するという大変さを実感しました。グループワークでは皆さん真剣に取り組み、自主性、積極性が随所に見られました。発表時には順番待ちになるなど、頼もしい仲間が増えたようです。多くの方に、活動へつなげていただけるようボラコなごやとしても対応していきたいと思えます。

また、平成19年2月には6期の養成講座も行われる予定です。

被災地支援報告

平成18年7月豪雨災害 長野県にて

本年7月、長野県を襲った集中豪雨は諏訪湖周辺に甚大な被害をもたらしました。被災地に立ち上がった「災害ボランティアセンター」の応援のため、RSYの浦野愛氏、ボラコなごやの高崎と椿が7月23日から現地入りしました。

下諏訪町での支援のあと、最も被害が大きかった岡谷市でも活動しました。ここでは、地域の自治会役員の方々が被災者復興支援の要の存在として活躍されていました。災害ボラセンと地域役員の関わりのお手伝いを感じることが出来ました。代表 高崎賢一

今回も、災害ボランティアセンターで使用する資機材の搬出入をボラコなごや、各区団体、周辺のボランティア団体にお手伝いいただきました。



グループワークの発表風景 = 養成講座3日目

今年5月のボラコなごや第3回通常総会に出席し入会しました。そもそも入会のきっかけは、三重、富山の水害の際、個人的に現地に行ったことがありましたが、往來の交通手段の確保や経済的な負担などから思うようにならなかったとき、インターネット上で「レスキューストックヤード」の存在と兵庫県水害現地へのボランティアバスの企画を知り参加した際、ボラコの方々から種々ご指導いただいたことが始まりでした。その後、新潟(田麦山)にも2回参加しましたが、その際もボラコの方々にお世話になりました。

人会
歓迎

5月に入会しました！

名古屋市港区 加藤 透

そんなきっかけから平成16年度の「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を受講しましたが、最終日程のとき身内の不幸があり受講を頓挫し今年、漸く、同講座を修了することになりました。

港区は、ボラコなごやの高崎代表の地元でもあり、以前からお誘いいただきましたが、講座未了といった気持ちもあつて仕事等の多忙さにかまけて失礼ばかりしてしまいました。今後は(少しずつですが)参加・協力をししていきたいと思えますのでよろしくお願ひします。

中川区が立ち上がりました！！

平成18年12月11日（月）中川区の「名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク」が設立されました。市内で九番目の団体となりました。

ただいま会議中!



中川区の準備会
10月26日(木)

西、中村、中、昭和、瑞穂、熱田区に在勤・在住の皆様、各区の団体設立に向けて今こそ力を合わせようではありませんか。

「ボラコなごや」では「なごや災害ボランティア連絡会」と協力し、団体設立の準備段階から応援をさせていただいておりますので、気楽に声をかけてくださるようお願いいたします。

お願い とお知らせ

🔍 メールアドレスの登録をお願いします

ボラコなごやからの連絡はメーリングリストとメールを主体としています。残念ながらFAXや電話の方へはご連絡が届いていないのが現状です。携帯やパソコンでアドレスをお持ちの方はぜひ登録をお願いいたします。また携帯へは必要な情報のみをお送りするようにいたします。

volaconagoya@yahoo.co.jp
まで登録メールをお送りいただきますようお願いいたします。

🔍 2月にも養成講座が開催されます！6期

平成19年2月10日、11日、12日（土、日祝、月振）の3連休に、名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座が開催されます。名古屋市は500名のコーディネーターを目指して養成する予定です。区の立ち上げも視野に入れてのことで、人数もまだまだ偏りがあります。立ち上がっていない区のメンバーを増やすために、また既成の区の活動拡大のためにも、お知り合いなどお誘いいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

名古屋市内のネットワーク設立状況

平成18年12月20日現在

区	名称
守山	防災ボラネット守山
港	名古屋みなと災害VNW
緑	名古屋みどり災害VNW
北	名古屋きた災害VNW
天白	天白でいぶり
名東	名東区災害ボランティアの会
東	名古屋ひがし防災VNW
南	名古屋みなみ災害VNW
中川	名古屋なかがわ災害VNW



紙面の都合上ボランティアネットワークをVNWと表記させていただきました

今後のスケジュール

- 1月12日（金）定例会（連絡会と合同開催）〔市社協7階〕
- 1月21日（日）愛知・名古屋防災&ボランティアフォーラム2007〔栄・オアシス21・NHK名古屋放送センタービル〕
- 1月27日（土）防災啓発巡回展 in みなみ〔南区役所講堂〕
- 1月28日（日）防災啓発巡回展 in なかがわ〔中川区役所講堂〕
- 2月8日（金）定例会（勉強会・総会準備）〔NPOセンター〕
- 2月10日～12日 6期 名古屋市養成講座〔NPOセンター〕

定例会は原則、第2金曜日18:30～NPOセンターで開催。

今後は、定例会と連絡会とを合同で開催することがあります。ネットワークの強化を意識し合同、単独に関わらず連絡会にもご参加ください。また、総会に向けて会の運営にもご参加、ご協力いただきますようお願いいたします。

会場および連絡先

市社協7階：北区役所がある名古屋市総合社会福祉会館7階
NPOセンター：なごやボランティア・NPOセンター（伏見ライブプラザ12階）
連絡先：代表まで090-1785-3163または、volaconagoya@yahoo.co.jp

編集後記

防災ファッションショーを楽しみながら、皆さまと一緒にできるのはうれしいことですが、多くの方の参加が必要で、毎回人数が足りるのかとハラハラドキドキです。

物を作ることの楽しさを徐々に思い出し、楽しむことができました。

2007年も皆さまと活動を楽しくできますようどうぞよろしくお願いいたします。

Tsubaki